


おおふなと 社協だより

 ふれあいネットワーク



2019年 6月号



今月の表紙

あずま ともあき ゆうこ
東 知明さん・祐子さん
あかり ひかり みどり とうり
明莉ちゃん 光莉ちゃん 翠莉ちゃん 橙利くん
(10歳) (9歳) (5歳) (2歳)
てつろう みつこ
鉄郎さん・充子さん

【特集】日常生活自立支援事業～あんしんねっと～

…	2～3
盛町ボッチャ愛好会	4
長安寺太鼓保存会「寺町一座」	4
高齢者等日常生活支援事業	5
住民支え合いマップ作り	5
お知らせ	6～7
輝き人	8



お財布・通帳……

どこだっけ??



日常生活自立支援事業～あんしんねっと～

社会福祉協議会（以下、社協）では、安心して暮らせる地域社会の実現を目指し地域の生活課題を解決することを理念に掲げています。その取り組みの一つとして、高齢化や障がいによって判断能力が不十分な人の生活を応援する日常生活自立支援事業を実施しています。気仙地域を対象エリアとし、陸前高田市社協、住田町社協と協力して展開しています。

Q どんな事業？

A 福祉サービスを利用したいけれど、手続きの仕方がわからない。銀行に行ってお金をおろしたいけれど、自信が無くて誰かに相談したい。商品勧誘の人が来たとき、どう対応してよいかわからない等の迷いごとに対し、サービス利用の手続きや金銭管理などをサポートします。



Q どんな人が利用できるの？

A 自分ひとりで契約などの判断をすることが不安な人や、お金の管理に困っている人などが利用で

きます。例えば、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方々が対象となります。

Q 利用料金は？

A 相談や支援計画作成費用は無料です。利用料は、1時間あたり1,300円。なお、生活保護を受けている人は無料です。



現在、気仙地域全体で91の方が利用しています。利用者の多くは認知症や障がいを抱えた人ですが、必ずしも医師による診断書や障害を証明する手帳等を所持している人に限られるものではありません。気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。相談に基づき、支援計画を作成する専門員と、利用者に金銭等を届ける生活支援員を配置して皆様の生活をサポートします。

○成年後見制度との違い

日常生活自立支援事業と同様に、判断能力が十分ではない人が利用できる制度に「成年後見制度」があります。

成年後見制度は、認知症や知的障

がいを抱えていることで「契約行為を理解することができない人」の権利や財産を法的に守るものです。

一方、日常生活自立支援事業は、判断能力が十分ではないものの「契約行為を理解できる人」が対象で、支援内容は日常生活の範囲に限られます。例えば介護サービスなどの利用手続きの援助はできても施設入所の援助はできない、預貯金通帳や不動産権利書等の保管はできても財産の処分はできないなど、重大な行為はできないこととされており、この部分が成年後見制度との大きな違いです。

社協では、この二つの取り組みが適切に利用できる仕組みづくりについても進めていきます。



(契約締結までの経緯)

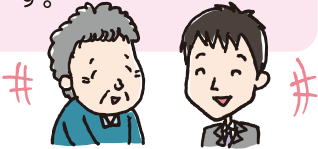
これまで金銭管理や市役所等の手続きをしていた夫が亡くなり、ケアマネジャーが自宅を訪問したところ、市役所からの書類、口座振替ができなかった請求書のほか、督促状が届いていた。支払い方法が分からず、親族とも疎遠だったため誰にも相談できずにいた本人にケアマネジャーが当事業の利用を勧めたところ、金銭管理に不安を持っていたため利用を希望した。

(サービス利用の効果)

専門員が請求書の名義変更と口座振替の手続きを行い、生活支援員が自宅に届いている郵便物や請求書を確認することによって、支払の滞納がなくなった。金銭に関する不安も解消され、本人はヘルパーなど福祉サービスを利用しながら安定した生活を送っている。

(利用者の声)

生活支援員さんが来るようになってとても助かっています。時にはお金を使いすぎて指導されることもあります。何より話し相手になってもらい、昔話に付き合ってくれてるので訪問が楽しみです。



生活支援員がサポートします



① 打ち合わせ

生活支援員は適切に利用者へ金銭を届けるため、支払内容等について専門員と綿密な打ち合わせを行った上で利用者宅を訪問します。



② 訪問

利用者が生活する上で必要な金額を届け、確認していただいた上で署名をもらいます。お金を渡した後は普段の生活の様子について伺い、小さな困りごとにも相談にのります。



③ 支援終了

利用者が次回の訪問日を分かりやすくするため、カレンダーに○印をつけて、利用者宅をあとにします。

みんなで運営するスポーツサロン 盛町ポッチャ愛好会



「盛町ポッチャ愛好会」（西條誠代表）は、毎週木曜日にカメリアホールで活動しているスポーツサロンです。ポッチャとは、年齢や障がいの有無にかかわらず、誰でも楽しむことができるスポーツで、会員のほとんどがこのサロンでポッチャを覚え、男性会員も多く参加し、楽しんでいきます。

毎回試合の前には、手作りの組み分け棒を使って、所属チーム、審判、点数記入などの役割を決めます。「はじまり！」と気合



最後の一投まで、勝ち負けがわからないのがポッチャの面白いところです

の掛け声で試合が始まると、「ソレ行け」「もう一丁」と試合は白熱。真剣勝負をしながら、介護予防や体力づくりにもつながっています。投げたボール全部が得点になると、点数の代わりに花丸を得点板に記入するという工夫をしており、花丸を目指して、試合は一層盛り上がりします。

ポッチャの合間には、お茶飲みの時間を必ず設けており、愛好会では、親しく語り合えるこの時間を大切にしています。この日は集めた会費を使って、月に1回お茶菓子を用意することや、輪番制の会場準備当番の人数を増やすことなど、全員が楽しく無理なく続けていくための話し合いも行われていました。

「今日は3連勝した。その時によつてチームメンバーが変わるから、今日は運が良かった」「ポッチャをすると元気になって、持ってきた杖を帰りに忘れて帰る人もいる。楽しい場所なので、若い人にも参加して欲しい」と会員らは話してくれました。

生涯現役でまちを盛り上げたい 長安寺太鼓保存会 「寺町一座」

日頃市町長安寺地区には、わずか4人で「ちんどん」活動をしている長安寺太鼓保存会「寺町一座」（菊乃家鈴丸座長）があります。

元来、この地区には、郷土芸能がありませんでしたが、地区の盆踊り大会をきっかけに、昭和47年に長安寺太鼓保存会が結成。その後、生涯現役で活動したい、長く地域の皆さんを喜ばせたい、後進の活動の受け皿を作りたいという思いから、平成15年に「寺町一座」が結成されました。曲調



わくわくとともに郷愁を誘う独特の音色が魅了します

や使う楽器も違うため一からスタートでしたが、わずか5年で全日本チンドン大会で日本一を獲得。プロも認めるアマチュア団体までになりました。

現在は、結婚式や福祉施設、東日本大震災後は仮設住宅や復興イベントなど、演奏回数は年間30回に上ります。また、大船渡市をPRするため、平成25年から「復興大船渡・全国ちんどん祭り」を開催し、今年フィナーレを迎えます。

「震災後は、誰も喜ばないからやめようと考えていました。でも、地域の皆さんからありがとう、元気をもらつたと言われ、これからも地域の人が喜ぶ姿が見たい一心でやっています。今年度でちんどん祭りは最終回ですが、地域の皆さん、ちんどん仲間への感謝を胸に歴史に残るものにしたいです」と話してくれました。

※復興大船渡・全国ちんどん祭りは、7月14日（日）リアスホールで午前10時20分開演。

気持ち良く生活していくために 高齢者等日常生活支援事業



雑草が生い茂る季節や節目での利用は
いかがでしょうか

社会福祉協議会では、高齢者や障がい者世帯を対象に、「高齢者等日常生活支援事業」を行っています。この事業は、介護保険サービスや障害福祉サービス等の公的サービスでは対応ができない窓ふきや草刈りを支援するものです。作業に従事する人は、ボランティアの他、就労を目指す人、就労している人たちもおり、就労訓練の場にもなっていることがこの事業の特徴です。そのため、作業時間は長くなるかもしれませんが、料金は無料となっています。

すのでご了承ください。
平成30年度は、草刈りが6件、窓ふきが13件でした。草刈りはお盆前の依頼が多く、窓ふきはお盆や年末の依頼が多い傾向にあります。

利用した人からは、「高齢になり、思うように体が動かず、高いところの窓ふきは危なくてできませんでした」などの声をいただいています。

対象世帯は、大船渡市内の75歳以上または、障がいを持っている人が属する世帯です。

対象世帯に該当することを証明する各種書類（免許証や保険証、介護保険証、障がい者手帳等）の写しを添付して申請します。

【問い合わせ先】

大船渡市社会福祉協議会
019212710001

サロン活動で地域づくりを 住民支えあいマップ作り



昔からの不思議な言い伝えなど、マップを
きっかけに地域の話が膨らみました

みなさんは、自分が住んでいる地域や近所のことをどのくらい知っていますか。住民支えあいマップは、地域の現状を確認することで地域課題を発見し、地域で課題を解決していくことを目的に作成するものです。

日頃市町板用地域の「あのねサロン」（佐藤和子代表）は、お互いに支えあえる地域を作りたいという思いから、昨年活動を始めたサロンです。町内会の集まりで住民支えあいマップの存在を知ったサロンの世話役らは、

支えあい活動の基本となる住民同士のつながりを目に見える形にして、地域全体でできる取り組みをしていきたいと思い、5月16日にマップ作りに取り組みました。

サロンの世話役9人が、社協職員と共に作成したマップからは、福祉サービス利用者や子どもなどの人数のほか、将来的に移動手段に不安を感じるという地域の現状が見えてきました。また、板用肩怒剣舞などの郷土芸能や高稲神社の祭礼等が、地域のコミュニティづくりにつながっていることを再確認しました。

参加した佐藤さん（60代）は、「地域に気がかりな人がいても、遠慮して行動に移せなかったが、マップ作りをして、声掛けなどをしていくことが大切だと分かった。今回のサロンで、地域の現状と課題を共有し、他の会員にも自分ごととして捉えられるように、社協さんと相談しながら今後の取り組みを考えていきたい」と話してくれました。



おでかけひろば

出張「つどいの広場」です。乳幼児の子育てをしている人ならどなたでも利用できます。

日時 毎週火曜日 午前10時～午後3時

会場 おおふなぽーと2階和室

※慢性・先天性疾患、低体重出生児、発達障がいなど配慮が必要なお子さんのためのおでかけひろば「ゆるり」は、7月17日(水)(午前10時～正午)に開催します。

なお、7月30日(火)のおでかけひろばでは保育士を目指す専門学生と一緒に手づくりおもちゃで遊ぶ「わくわくキッズランド」も同時開催します。



* 岩手県福祉人材センター情報

小規模介護事業所合同就職面談会

下記の日程で合同面接会を開催します。事前の申込は不要です。

日時 7月6日(土)

午後1時30分～午後4時

場所 大船渡市魚市場3階多目的ホール

対象 介護の仕事に就職・転職を希望する人、関心のある人

参加費 無料

介護のしごと相談

キャリア支援員が福祉の職場に就職したい方などの相談に応じます。相談を希望する人は、事前に連絡をお願いします。なお、2日(火)については、お子様連れでも相談できます。

介護のしごと相談日程(7月)

開催日	会場	時間
2日(火)	おおふなぽーと	午前10時～午後3時
11日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
22日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時
25日(木)	ハローワーク	午前10時～正午
29日(月)	Y・Sセンター	午前9時～午後4時

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター 坂本

電話 080-8201-0200

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。



申込・問い合わせ先 大船渡市社会福祉協議会
電話 0192(27)0001 (代表)

* 子育て支援事業情報

子育て世代と支援者のための防災講演会

NPO 法人こそだてシップと共催でイベントを開催します。お気軽にお越しください。なお、託児もありますので、お子様連れでも大丈夫です。事前の申込は不要です。

日時 6月30日(日)

午前10時～午後0時30分

場所 シーパル大船渡2階大会議室

開催内容 【講演】

「子育て世代の災害への備えについて」

長岡市助産師会会長

小林 美代子 氏

【体験報告】

NPO法人こそだてシップ代表

伊藤 怜子 氏

助産師

吉田 百 氏

【グループワーク】

「今日の学び、今日からできること」

対象 妊婦、未就学児とその保護者、一般住民、子育て支援関係者等

参加費 無料

申込・問い合わせ先

NPO法人こそだてシップ

電話/FAX 0192-47-5689

つどいの広場内イベント

下記の日程でイベントを開催します。お気軽にお越しください。

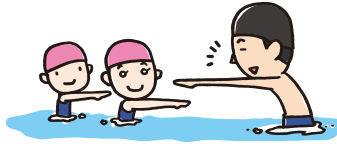
つどいの広場イベント日程(7月)

開催日	内容	時間
4日(木)	はじめてさんの日	午前10時～午後4時
	計測の日 (成長記録カード作り)	
11日(木)	ぼうさいカフェ	午前10時30分～正午
18日(木)	ハローワーク 出張おしごと相談会	午前10時30分～正午
	わいわいトーク	正午～午後1時
25日(木)	かすみんの栄養相談会	午前10時～正午

キッズ水泳教室

水遊びの楽しさと、プールを安全に利用するためのマナーを学びましょう。

日時 7月20日(土)
午前10時30分～午前11時30分
会場 大船渡市Y・Sセンター
対象 4歳児(年中)～5歳児(年長)
定員 25人
参加費 無料(プール利用料別途)
申込方法 6月24日(月)～前日までに電話
または直接来所で申込み



大船渡市社会福祉協議会 会費納入のお願い

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき全市町村に設置された、地域住民のみなさまとともに地域福祉活動に取り組む社会福祉法人です。社会福祉協議会の活動は地域住民、団体のみなさまからの会費のほか、市からの受託金、補助金などによって支えられており、地域福祉活動やボランティア活動を推進する財源として活用させていただいております。ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

会費額 1,000円(年額)

※ 7月5日頃より各地域の行政連絡員さんに取りまとめをお願いする予定です。

*大船渡市Y・Sセンター情報

トレーニング教室

下記の日程でトレーニング教室を開催します。NPO法人さんりくWELLNESSの健康運動指導士が指導します。

開催期間 7月～9月
場所 大船渡市Y・Sセンター
定員 各教室40人
申込締切 7月1日(月)
申込方法 平日午前9時30分～午後4時30分(祝祭日除く)、申込書と受講料を添えて申込み
その他 会場使用料別途

トレーニング教室日程

教室名	開催日	受講料
筋力トレーニング (水曜クラス)	毎週水曜日 (8/14、9/25以外) 午後2時～午後3時	600円
筋力トレーニング (金曜クラス)	第2・4金曜日 (8/23以外) 午後2時～午後3時	500円
リズム体操	第1・3・5金曜日 (8/16以外) 午前11時～正午	600円

ホームページで社協活動を日々更新中です。



<http://ofunato-shakyo.com>

今月の表紙

東 知 明さん・祐 子さん
明莉ちゃん(10歳)・光莉ちゃん(9歳)
翠莉ちゃん(5歳)・橙利くん(2歳)
鉄 郎さん・充 子さん
(立根町在住)

4人姉弟で毎日にぎやかな東さん一家。最近子ども達はお花の水やり、虫探しに夢中になっているそうです。



- 7月号課題「雑詠」
- 締め切り
7月5日(金) **必着**。
1人1句。
(自信作をひとつ)
はがき使用。
- 投 句 先
立根町字下欠125-12
「Y・Sセンター」内
大船渡市
社会福祉協議会
「ふくし川柳」係
- その 他
作品によっては、
添削する場合があります。投句者の氏名にはフリガナをつけてください。

(評)新しく令和になった最近、悲惨な事件や事故が全国各地で相次いで起こっている。路上での「献花の姿」が消える日は来るのだろうか…。

「ふくし川柳」
のぼり藤我が人生はまだいける
無人駅花の香りに迎えられ
折々に耐えた野の花美しい
亡き父母が愛でた紫陽花雨に映え

《佳作》
路上から 花束供物 いつ絶える
猪・村上 達男

課題「花」富谷英雄選
猪・千葉 芳子
末・滝田 澄子
立・武田 みつ
盛・金野由利子

輝き人

このあおば
金野 亜緒葉さん (16歳)



大船渡町在住。学業の傍ら、仰山流笹崎鹿踊保存会最年少にして唯一の女性会員として伝統文化継承の一翼を担う。

※現在、会員は31名。うち踊り手は高校生2名を含む17名。

笹崎鹿踊はわたしの誇り

○きっかけは格好良さ

中学校の文化祭で郷土芸能に取り進む機会があり、いくつか郷土芸能があつたのですが、先輩たちが踊る鹿踊の迫力と格好良さに魅かれ、「笹崎鹿踊」を踊ってみたいと思いました。

笹崎鹿踊は踊りが激しいので疲労が大きいのですが、踊り終わった時の達成感は格別です。

○先輩方に応えたい

今年4月、保存会の五年祭に向けた練習に参加させてもらいましたが、短時間で多くの踊りや唄を覚えることに苦戦しました。足を引く張つてしまうので、五年祭への参加は見合わせようかとも考えましたが、先輩方は、丁寧に何度も教えてくれます。そうした先輩方に応えるためにも、やはり五年祭に出たいと思うようになりました。そして迎えた五年祭。魚市場で

○鹿踊の動と静

踊り終わった後には、中学時代とは比べものにもならないほどの拍手に包まれました。「鹿踊は大船渡の誇りだ」という言葉もかけられ、感動で胸がいっぱいになりました。

○鹿踊の継承

五年祭の前後4日間は、朝早くから暗くなるまで町内の様々な場所ですり、お宅を廻って先祖を供養する「回向」もします。保存会の練習で回向について教わるまでは、その存在すら知らず、「鹿踊」が激しく格好良い踊り」でしかなかったので意外性を感じました。

回向は、厳かな空気の中、縁側の机上に位牌を置き、庭にひざまずいて行ないます。地域の方々は、4年に一度訪れる鹿踊を心待ちにしているように見え、哀愁を帯びた唄による回向に静かに耳を傾けてくれます。そして、回向が終わると、深々と感謝してくれま

した。踊りが「動」なら、回向は「静」。この地域にとつてなくてはならないもので、とても大切な文化のひとつだと思いました。

○鹿踊の継承

練習中に、仲立と呼ばれるリーダーが次の仲立へと引き継ぐ姿を度々目にし、その姿から鹿踊が代々受け継がれているということを感じました。

また、保存会の先輩から「踊つてくれてありがとう」と声をかけられ、自分も鹿踊の継承に貢献できるかもしれないと思いました。

高校卒業後は、大船渡を離れることになると思うので、地元にいる間に、もっと地域に触れ、機会があればまた踊りたいです。



中央で踊っているのが亜緒葉さん

「おおふなと社協だより」は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づき基本方針の判断の基準を満たす紙と植物性インキを使用し、共同募金配分金を活用して発行しています。

おおふなと社協だより No.307 2019年6月 編集・発行／社会福祉法人 大船渡市社会福祉協議会

〒022-0006 大船渡市立根町字下欠 125-12 「Y・Sセンター」内

TEL 0192-27-0001 FAX 0192-27-0800

Eメール ooshakyo@coccoa.ocn.ne.jp

ホームページ http://ofunato-shakyo.com